

寒くても換気しよう



換気 をしないと…!

体調不良になりやすい

空気中の二酸化炭素の量が多くなると、頭痛や吐き気、息苦しさなどが現れることがあります。



感染症にかかりやすくなる

ウイルスが空気中に漂ったままになります。カゼなどの感染症を引き起こしやすくなります。



アレルギーを発症するかも

ホコリやダニ、カビなどがたまると、吸い込んでアレルギーを発症する可能性があります。



換気のポイントは

“空気の流れ”



各クラスの換気状況

学校環境衛生基準では二酸化炭素濃度は1500ppm以下が望ましいとされています

すべてのクラスが基準を満たしています。換気の継続をお願いします。

クラス名	日時	人数	CO ₂ 濃度	クラス名	日時	人数	CO ₂ 濃度
1-1	1/9 10:50	29人	735ppm	2-3	1/9 11:00	29人	717ppm
1-2	1/9 11:00	25人	1036ppm	3-1	1/9 11:00	28人	1041ppm
1-3	1/9 11:00	29人	1370ppm	3-2	1/9 11:00	30人	1238ppm
2-1	1/9 11:00	27人	1290ppm	3-3	1/9 11:03	30人	982ppm
2-2	1/9 11:00	30人	700ppm	職員室	1/9 13:47	8人	1048ppm

1月17日は防災とボランティアの日



みなさんは「阪神・淡路大震災」を知っていますか。1995年に発生した震災で、近畿圏の広域に大きな傷跡を残しました。復興までには学生を含めたボランティアが大活躍し、地震が発生した1月17日が「防災とボランティアの日」に定められました。

令和6年元旦には、能登半島地震も発生しています。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。もう一度、一人一人が災害に対する意識を高め、できることを確認しておきましょう。

災害に備えてできること

震災の経験から省庁の体制が見直されたり、建築のルールが改善されたり、教訓が活かされてきました。非常用持出袋や被災時の身の守り方などの対策は、過去の反省とそこから生まれた知恵の結晶です。自分事として取り組み、「減災」に最大限に生かしてほしいと思います。ボランティア自体に興味がある人は、この日にちなんだ催しなどに参加してみるのも良いですね。



「もしも」のための ぼうさい 防災 —災害が起きる前にできること—

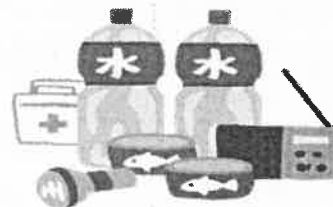
参考にしてみてください。

(参考: 首相官邸 HP、総務省 HP、愛媛県 HP)

○ 家具の固定

○ 食料・飲料などの備蓄

- 飲料水3日分(1人1日3Lが目安) □非常食3日分
- 生活用品(トイレトーパー、携帯用トイレ、ポリタンク、ゴミ袋など)
- ※大規模災害発生時には、1週間分の備蓄が望ましいとされています。



○ 非常用持ち出し袋の準備

- 水 □食品(ご飯(アルファ米など)、ビスケット、乾パンなど、最低3日分を用意する) □携帯トイレ
- 防災用ヘルメット □下着・衣類 □レインウェア □紐なしズック靴 □マッチ・ろうそく □タオル □ゴミ袋
- 懐中電灯(手動充電式が便利) □携帯ラジオ(手動充電式が便利) □予備電池・携帯充電器 □軍手
- 救急用品 □使い捨てカイロ □ブランケット □洗面用具 □歯ブラシ・歯磨き粉 □ペン・ノート など
- 感染症対策にも有効です—
- マスク □手指消毒用アルコール □石けん・ハンドソープ □ウェットティッシュ □体温計
- 一緒に持ち出そう—
- 貴重品(現金、通帳など)

○ 家族の安否確認方法の相談

日頃から安否確認の方法や集合場所などを事前に話し合っておきましょう。

□災害伝言ダイヤル 171

(局番なしの171に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。)

□災害用伝言版(Web 171)

(パソコンやスマートフォン等から電話番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認ができます。)

○ 避難場所や避難経路の確認

○ 情報収集のための備え

災害時に素早く正しい情報を入手できるようにしておきましょう。

- 愛媛県防災メール(防災メール。登録地域の防災情報が即時にお知らせされます。)
- Yahoo!防災速報(防災アプリ。愛媛県とヤフー(株)が締結している協定に基づき、愛媛県からお知らせが配信されます。)
- えひめの防災・危機管理(防災WEBページ。警報、注意報、避難場所、被害状況などの災害時の情報集約ページ。)

